



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 幸楽苑

コード番号 7554 URL <http://www.kourakuen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井田 傳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 武田 典久

TEL 024-943-3351

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,107	△3.5	979	△15.7	1,024	△14.2	469	23.6
23年3月期第2四半期	17,732	△0.4	1,162	△10.3	1,195	△9.7	379	△44.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 472百万円 (24.4%) 23年3月期第2四半期 379百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	28.89	—
23年3月期第2四半期	23.36	23.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	20,660	9,718	46.9	596.50
23年3月期	19,505	9,409	48.1	577.45

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,695百万円 23年3月期 9,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,137	3.5	2,012	2.7	2,063	1.8	703	6.3	43.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	16,268,441 株	23年3月期	16,268,441 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	14,447 株	23年3月期	14,359 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	16,254,021 株	23年3月期2Q	16,254,165 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響から不況感が大幅に強まっておりますが、震災からの復興・復旧に伴い、生産活動や消費環境に下げ止まりの動きも見られております。しかしながら、原子力災害や電力供給不足に加え、原油価格の高騰、海外経済の減速懸念や急激な円高の進行等、先行きに対する不透明感が依然として根強く、本格的な景気回復には時間がかかるものと思われまます。また、雇用・所得環境も厳しい状況にあることから消費マインドは低迷、個人消費も低調に推移し、デフレ基調が継続しております。

外食産業におきましても、景気低迷による節約志向から外食機会が減少する一方、放射能汚染問題・食中毒事件の発生から「食の安全・安心」に対する消費者意識が高まっており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、継続的な店舗QSC（クオリティ・サービス・クリンリネス）レベル向上対策と商品戦略強化による顧客満足度向上に取り組むとともに、1,000店舗体制実現と業界シェア拡大に向けた出店戦略に基づき、既存商勢圏内へのドミナント出店を積極的に推し進めてまいりました。また、自社工場における主要食材の大量生産システムによるメリットを最大限に発揮することで低価格戦略を継続するとともに、「食の安全・安心」を提供するため、新たに放射線測定機器を導入した社内検査体制を構築する等、従来の品質管理体制をさらに強化してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は17,107百万円（前年同期比3.5%減）の減収となり、営業利益は979百万円（同15.7%減）、経常利益は1,024百万円（同14.2%減）の減益となりましたが、特別損失が減少したことから、四半期純利益は469百万円（同23.6%増）の増益となりました。

また、当第2四半期末のグループ店舗数は450店舗（前年同期比21店舗増）となりましたが、このうち福島第一原子力発電所の事故に伴い、警戒区域に指定された地区のフランチャイズ加盟店1店舗については、営業を見合わせております。

セグメント別の業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高または振替高を含んで表示しております。

① ラーメン事業

ラーメン事業においては、「マイスター制度（社内調理資格制度）」と「テーブル担当制（テーブル・サービス・レストラン型オペレーション）」を柱としたQSCレベル向上対策に継続的に取り組み、高品質で安定した商品提供ときめ細かいサービスにより、すべてのお客様に感動・感激の場を提供できる店舗づくりを目指してまいりました。また、震災復興応援として「お子様元気セット（199円）フェア」や「焼ギョーザ（105円）フェア」等を実施いたしました。さらに、マネジメントレベル向上を目的とした店長教育を強化することで、競合他社との競争に地域・店舗別で迅速に対応できる人材を育成するとともに、店舗ごとの売上・利益管理の徹底に努めてまいりました。

商品面におきましても、夏場の猛暑を想定し、「冷し担担麺」や「野菜辛しもりそば」等の夏季メニューを導入して冷たい商品のバリエーションを充実させたほか、季節ごとの地域別ランチメニューを導入することで多様化するニーズに対応してまいりました。また、9月からは秋季期間限定メニューとして、「豚バラ中華そば」「贅沢濃厚魚介つけめん」を導入し、お客様からの高い注文率と客単価の向上につなげております。

これらの諸施策により既存店売上・客数の増加に努めてまいりましたが、厳しい経営環境の影響により当第2四半期累計期間における直営既存店は、売上高前年同期比7.0%の減少、客数前年同期比8.1%の減少となりました。

店舗展開につきましては、年間41店舗の新規出店を計画しており、当第2四半期累計期間においては新規に直営店「幸楽苑」22店舗を関東地方を中心に開店いたしました。また、スクラップ・アンド・ビルドを直営店1店舗で実施し、当第2四半期末の店舗数は、直営店423店舗（前年同期比21店舗増）となり、業態別には「幸楽苑」423店舗となりました。

この結果、売上高は16,464百万円（前年同期比3.0%減）となり、店舗ごとの就労時数や水光熱費管理によりコストコントロールを徹底してまいりましたが、売上高減に伴う売上総利益の減少を吸収できず、営業利益は1,860百万円（同8.6%減）となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業（ラーメン業態のフランチャイズ加盟店24店舗）、その他外食事業（和食業態及びハンバーグ業態の店舗展開）、損害保険及び生命保険の代理店業務、広告代理店業務を行っております。

その他外食事業の店舗展開につきましては、当第2四半期末において直営店3店舗となり（前年同期比増減なし）、業態別には「和風厨房伝八」（和食業態）2店舗、「フライングガーデン」（ハンバーグ業態）1店舗となっております。和食業態においては、「石焼チャーハン」等の新メニュー導入効果もあり、売上高・客数ともに前年同期比100%を上回りました。

また、原発の影響に伴う加盟店の営業中止等により、フランチャイズ事業の売上高が減少したこと等から、売上高は889百万円（前年同期比3.4%減）となりましたが、不採算事業からの撤退やコストコントロールの徹底により、営業利益は163百万円（同15.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて337百万円増加し、2,925百万円となりました。これは、現金及び預金が263百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて818百万円増加し、17,735百万円となりました。これは、建物が256百万円、有形固定資産「その他」に含まれるリース資産が483百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,155百万円増加し、20,660百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて149百万円増加し、6,318百万円となりました。これは、一年内返済長期借入金が471百万円減少したものの、買掛金が353百万円、未払法人税等が276百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて697百万円増加し、4,623百万円となりました。これは、長期借入金480百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が166百万円、それぞれ増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて846百万円増加し、10,942百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて308百万円増加し、9,718百万円となりました。これは、利益剰余金が307百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月12日発表の連結業績予想及び個別業績予想をそれぞれ修正しております。修正の内容につきましては、平成23年10月24日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成23年10月24日発表の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,544,120	1,807,542
売掛金	126,388	140,215
たな卸資産	264,579	259,786
その他	653,315	717,995
流動資産合計	2,588,403	2,925,539
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,884,913	5,141,731
土地	3,954,241	3,954,241
その他(純額)	2,051,036	2,712,114
有形固定資産合計	10,890,191	11,808,087
無形固定資産		
投資その他の資産	171,283	176,899
敷金及び保証金	2,121,406	2,185,510
その他	3,737,144	3,569,891
貸倒引当金	△3,025	△5,342
投資その他の資産合計	5,855,525	5,750,060
固定資産合計	16,917,000	17,735,046
資産合計	19,505,403	20,660,586
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,333,064	1,686,739
1年内返済予定の長期借入金	1,529,332	1,057,960
未払法人税等	251,911	528,088
店舗閉鎖損失引当金	5,484	2,117
災害損失引当金	28,565	1,541
その他	3,021,218	3,042,388
流動負債合計	6,169,575	6,318,834
固定負債		
長期借入金	1,856,640	2,336,830
資産除去債務	533,086	561,340
その他	1,536,532	1,725,334
固定負債合計	3,926,259	4,623,504
負債合計	10,095,834	10,942,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,661,662	2,661,662
資本剰余金	2,658,096	2,658,096
利益剰余金	4,085,722	4,392,807
自己株式	△19,836	△19,933
株主資本合計	9,385,644	9,692,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421	2,890
その他の包括利益累計額合計	421	2,890
新株予約権	23,504	22,724
純資産合計	9,409,569	9,718,246
負債純資産合計	19,505,403	20,660,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	17,732,363	17,107,323
売上原価	4,861,858	4,553,286
売上総利益	12,870,504	12,554,037
販売費及び一般管理費	11,707,596	11,574,729
営業利益	1,162,908	979,307
営業外収益		
受取利息	21,596	18,499
固定資産賃貸料	69,554	82,674
協賛金収入	20,110	39,860
その他	39,593	56,549
営業外収益合計	150,853	197,583
営業外費用		
支払利息	37,220	27,163
固定資産賃貸費用	63,541	80,590
その他	17,324	44,225
営業外費用合計	118,087	151,979
経常利益	1,195,673	1,024,912
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	31,012	40,122
その他	43,796	780
特別利益合計	74,808	40,902
特別損失		
投資有価証券評価損	69,915	27,946
減損損失	23,226	92,269
その他	359,465	3,681
特別損失合計	452,607	123,897
税金等調整前四半期純利益	817,874	941,916
法人税、住民税及び事業税	534,929	482,730
法人税等調整額	△96,900	△10,438
法人税等合計	438,029	472,291
少数株主損益調整前四半期純利益	379,845	469,625
四半期純利益	379,845	469,625

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	379,845	469,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△529	2,469
その他の包括利益合計	△529	2,469
四半期包括利益	379,316	472,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,316	472,095
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当社は、平成23年8月30日開催の取締役会において、以下のとおりタイにおける合弁会社を設立することを決議し、平成23年9月23日に会社を設立し、平成23年10月6日に資本金の払い込みを完了いたしました。

① 合弁会社設立の目的

タイにおいて、ラーメン事業を展開することを目的として、合弁会社を設立するものであります。

② 設立会社の概要

イ 商号	KOURAKUEN (THAILAND) CO., LTD.	
ロ 所在地	62 Silom Road, Suriyawong, Bangrak, Bangkok	
ハ 代表者	代表取締役社長 宮田 茂一	
ニ 資本金	600万バーツ (16,800千円 : 1バーツ=2.8円換算)	
ホ 事業内容	ラーメンとギョーザを主力商品とする飲食店業	
ヘ 出資比率	株式会社 幸楽苑	49.0%
	MHCB Consulting (Thailand) Co., Ltd.	26.1%
	YAMAMORI TRADING CO., LTD.	24.9%
ト 決算期	12月	

4. 補足情報

(1) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位：千円)

品目	前第2四半期 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日		当第2四半期 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日		(参考)前期 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日	
	売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
直営店売上		%		%		%
らーめん類	8,699,580	49.1	7,995,856	46.7	16,617,686	49.0
セット類	5,765,518	32.5	6,160,037	36.0	11,151,664	32.9
ギョーザ	1,265,575	7.1	1,133,496	6.6	2,463,545	7.3
ごはん類	292,691	1.6	294,580	1.7	592,180	1.7
ドリンク類	455,581	2.6	446,509	2.6	806,871	2.4
洋食類	53,145	0.3	31,245	0.2	86,096	0.2
うどん・和食類	54,925	0.3	60,598	0.4	103,634	0.3
その他	525,372	3.0	460,595	2.7	959,264	2.8
計	17,112,391	96.5	16,582,920	96.9	32,780,943	96.6
F C店等材料売上	526,398	3.0	433,263	2.6	970,007	2.9
ロイヤリティ収入	58,425	0.3	51,782	0.3	108,619	0.3
その他	35,148	0.2	39,357	0.2	72,727	0.2
合計	17,732,363	100.0	17,107,323	100.0	33,932,298	100.0

(注) 1 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。
2 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位：千円)

地域別	前第2四半期 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日			当第2四半期 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日			(参考)前期 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日		
	売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数
		%	店		%	店		%	店
福島県	1,629,287	9.5	35	1,684,903	10.2	36	3,103,914	9.5	34
宮城県	1,573,830	9.2	33	1,597,119	9.6	34	2,954,986	9.0	31
山形県	453,775	2.6	10	450,496	2.7	11	867,668	2.6	10
栃木県	859,211	5.0	21	938,154	5.6	25	1,679,898	5.1	22
新潟県	523,017	3.1	14	468,230	2.8	14	976,839	3.0	14
茨城県	1,321,657	7.7	31	1,239,789	7.5	31	2,502,473	7.6	31
群馬県	423,009	2.5	11	427,924	2.6	13	822,227	2.5	11
埼玉県	1,758,602	10.3	38	1,669,533	10.1	41	3,369,094	10.3	38
千葉県	1,635,214	9.6	36	1,685,291	10.2	42	3,166,123	9.7	39
東京都	1,191,779	7.0	22	1,139,932	6.9	23	2,368,569	7.2	22
神奈川県	999,019	5.8	22	1,007,270	6.1	25	1,937,998	5.9	23
秋田県	426,544	2.5	11	396,702	2.4	11	780,094	2.4	11
静岡県	758,130	4.4	20	701,524	4.2	21	1,448,396	4.4	20
山梨県	271,087	1.6	7	265,100	1.6	7	552,457	1.7	7
愛知県	1,061,047	6.2	31	918,520	5.5	30	2,015,749	6.1	30
三重県	300,038	1.7	8	256,491	1.5	8	566,737	1.7	8
岐阜県	273,384	1.6	8	245,890	1.5	8	523,536	1.6	8
長野県	310,980	1.8	7	312,636	1.9	8	601,668	1.8	7
京都府	30,814	0.2	1	57,227	0.3	2	94,751	0.3	2
滋賀県	102,113	0.6	3	45,807	0.3	2	155,200	0.5	2
大阪府	208,627	1.2	6	142,775	0.9	5	377,735	1.2	5
奈良県	19,864	0.1	1	16,867	0.1	1	37,176	0.1	1
富山県	118,156	0.7	3	101,843	0.6	3	217,615	0.7	3
兵庫県	272,168	1.6	10	248,597	1.5	9	553,225	1.7	9
岩手県	198,638	1.2	4	203,265	1.2	4	374,474	1.1	4
青森県	258,970	1.5	7	263,875	1.6	8	487,359	1.5	8
福井県	119,761	0.7	4	85,116	0.5	3	219,045	0.7	3
和歌山県	13,656	0.1	1	12,033	0.1	1	25,924	0.1	1
計	17,112,391	100.0	405	16,582,920	100.0	426	32,780,943	100.0	404

(注) 1 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。
2 千円未満は切り捨てて表示しております。